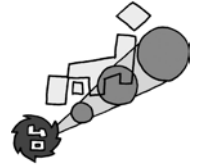


台風と向き合う準備をしよう



今年の台風の発生回数は平年よりやや多く、勢力の強い台風が日本に接近するとの予測があります。特に8月から9月にかけての台風は日本付近を通過しやすく、過去にも大きな災害をもたらしています。

台風が接近すると、強い風や雨によって土砂災害や浸水、農作物の被害、交通機関の乱れ、停電や通信障害など、様々な影響が発生する恐れがあります。また、前線や気圧配置によって台風から離れたところでも大雨となる可能性があります。

台風は他の災害と異なり、観測により比較的早期からその影響について予測が可能です。そのため、危険が大きくなる前から対策がとりやすい災害と言えます。気象情報に注意して事前の対策を行い、危険が増大する前から安全なところで影響がなくなるのを待ちましょう。

●台風が接近する前に

- 最新の台風情報を確認する。
- 近隣の地形や道路の状況から危険箇所を知る。
- 避難に使う道路のマンホールや側溝の冠水に備えて、普段からそれらの場所を把握しておく。
- 家の周りの飛散しやすいものを片付ける。
- 家の周りの排水溝を掃除する。
- 建物の壊れそうなところを補強する。
- 飛散物が当たりそうな窓は養生テープなどで補強し、ガラスの飛散に備えてカーテンを閉める。
- 停電に備えて懐中電灯を準備し、携帯電話を充電しておく。
- 食料、飲料水などを準備する。

●台風が接近したら

- 町が提供する避難に関する情報に注意する。
- 不要不急の外出は控える。
- 危険な場所にいる人は早めに安全なところに避難する。
- 安全なところにいる人も山や川から離れた部屋で窓から離れる。
- 増水時や風の強い時には川や水路の見回りをしない。
- 地域の防災関係者も安全第一で、危険があるときは見回りをしない。

物干し竿を下ろしておく



屋外の飛ばされそうなものを片付けておく



排水溝、雨水枡の掃除



雨戸を閉める



自転車を飛ばされないように固定



窓ガラスの飛散防止



家財を二階以上に運んでおく



土のうで浸水対策



【問合せ】役場総務課 82-1111

日南町美術館

鳥取県立博物館 移動美術展

“みる”からはじまる「対話型鑑賞」のススメ

- 開催期間 9月1日(金)から9月24日(日)まで
- 休館日 9月4日(月)、11日(月)、19日(火)
- 時間 8:30~17:00
- 入館料 無料

鳥取県立博物館の美術分野では、広く県民の美術への関心を高めることを目的に、博物館外で所蔵作品を鑑賞する、巡回展「移動美術館」を開催しています。令和5年度は、日南町美術館を会場に、県立博物館と同町美術館の所蔵品から作品を紹介し、本展では、お話しをしながら作品を鑑賞する「対話型鑑賞」を行うことを念頭に、作品をセレクトしました。

日南町図書館

としょかんのおはなし会

- 日時 9月17日(日) 10時から
- 場所 図書館 こどものへや

読み聞かせや紙芝居をボランティアと職員がおこないます。申込は不要ですので、お気軽にお越しください。

